

シチズンシップ教育

作 山崎 岳



選挙権の年齢が引き下げ! 秦野曾屋高校 参議院選挙模擬投票を実施!



政治経済の授業で 模擬投票を実施!...

「どのように投票するのか知らなかったのでも良い勉強になった。」そう話すのは秦野曾屋高校3年生の政治経済の授業をうける生徒達だ。

日本の選挙制度は一八八九年、大日本帝国憲法の制定によって、帝国議会が開かれたことと始まる。当初選挙権は、直接国税一五円以上を納める二五歳以上の男子に限定されていた。全人口に占める有権者数は一・一%であった。

二八年七月一〇日に行われる参議院選挙に向けて、秦野曾屋高校では七月八日、参議院選挙模擬投票を実施した。この模擬投票に向けて政治経済の授業の中では選挙の仕組み、日本の選挙の課題、候補者についての事前学習を行った。

そこから、普通選挙法の施行に向けての国民的運動が繰り広げられた。選挙権は次第に拡大し、一九二五年の普通選挙法の公布により財産による区別はなくなり、一九四五年、男女平等の選挙権が認められた。今回の一八歳選挙権の是認はそれ以降初めての大きな選挙制度改革である。

ただ、問題点も多く、全人口に占める有権者の割合が、約八三%と拡大する一方、投票率は約五二%と低迷が続く。

1票の重みを感じた



今を生きる全ての人にとって未来は作られる!

選挙権年齢が一八歳に引き下げられたことによって、みなさんに与えられた一票を投じる権利は、日本や住んでいる地域の未来を左右すると言っても過言ではありません。そのためには、政治や社会の動きをしっかり吟味して、一人ひとりが市民としての自覚をもち成熟する必要があります。

グローバルな社会全体、未来への想像力を持ち社会の形成者としての自覚を高めてください。

校長より

